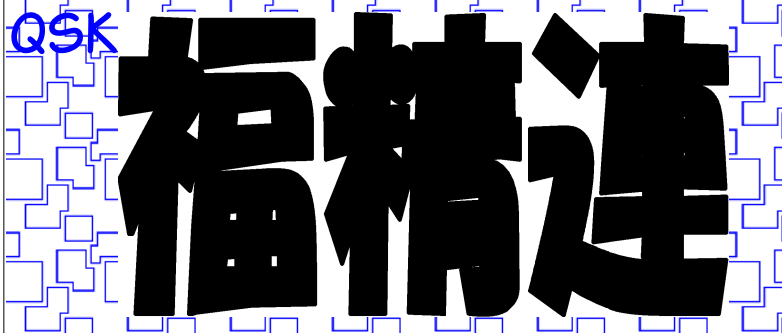




公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会
〒812-0046
福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50
電話092-292-0560 F A X 092-292-0561
e-mail: fksr1974@fukuseiren.com
http://www.fukuseiren.com/
No. 123 令和7年10月1日



困っている方がたり着ける先 それが家族会 あり続けなければならない。

8月29日（金）みんなねつとの小幡事務局長との懇談会が福精連事務局で開催されました。

第1部では、家族会との懇談を行いました。懇談では、会員数の減少や高齢化、定期的な集まりの減少など県内及び全国の共通課題が出ました。

課題に対し、電話相談や家族学習会を通じて新たな会員を増やす事例や、家族会内で役割を分担する必要性などが話されました。他にも、若い世代への伝承や新しい活動方法の検討、地域との連携強化の話題が上がり、家族会の必要性を再確認しました。

また、第2部では福精連役員との懇談を行い、当会のように、家族会と事業所が一緒になって運営している県連は少ない事を知りました。福精連の強みを活かし、当事者・家族が地域で安心して暮らせる社会になるよう、今後も活動していきたいと改めて思いました。

高速バスでも割引があることをご存じですか？

西鉄グループでは、2017年4月1日より、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方を対象とした、西鉄電車・バスの運賃割引を実施しておりますが、2024年10月1日より高速バスにおける適用路線を拡大しています。未だ高速道路の精神障がい者割引が実現しない中での西鉄グループの取組みに感謝です。

秋は行楽の季節。いつもよりちょっぴり足を延ばしてみませんか？

【割引対象者】 「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの方

【割引適用路線】 新たに適用となる路線（13路線）
福岡～長門湯本温泉★ 福岡・福岡空港～湯布院★
福岡・福岡空港～佐世保★ 福岡～宮崎★
福岡・福岡空港～ハウステンボス★ 福岡・福岡空港～延岡★
福岡～島原★ 福岡～鹿児島★
福岡・福岡空港～熊本● 福岡・北九州～東京（新宿）★
福岡・福岡空港～別府★ 福岡・北九州～名古屋★
福岡・福岡空港～大分★

★：予約制路線（座席指定制）
●：非予約制路線

※詳細につきましては、当会のHPまたは、西日本鉄道㈱のHPをご確認ください



この機関紙【福精連】は、共同募金の配分金によって作成されたものです。

家族のための相談電話

【相談時間】13時～16時
一人ですぐお電話ください

月曜日	090-1366-7498
火曜日	080-3986-1980
水曜日	080-1729-1950
木曜日	080-1729-1950
金曜日	080-1729-1955
土・日曜日・祝日	9時～16時 080-1729-1955

賛助会員加入のお願い

令和7年度の賛助会員の募集を行います。皆様のご協力よろしくお願い致します。

年会費：個人 3,000円
団体 10,000円

郵便局振込先
加入名：（公社）福精連
口座番号：01760-7-84332

※福精連への賛助会費・寄付金は確定申告の際の寄付金控除の対象になります。

行事案内

【スポーツレクリエーション大会】

福岡ブロック…11月19日（水）
北九州ブロック…10月3日（金）
筑後ブロック…10月17日（金）

【福精連大会】

10月31日（金）13時30分～
久留米シティプラザ 中会議室
講師…谷口 仁史 氏

【第3回 理事会】

10月31日（金）10時～
久留米シティプラザ 中会議室

【こころの健康づくり大会】

11月11日（火）13時～
久留米シティプラザ 久留米座
県知事表彰・地精協表彰式
講師…松本 俊彦氏

※筑後ブロック事業所の物販販売や当事者スピーチも予定されています。

【拡大会議】

11月11日（火）13時30分～16時30分
春日クロイバープラザ セミナールームA
医療費助成の勉強会
講師…みんなねつと医療費助成プロジェクト委員会座長 木全 義治氏

【みんなねつと九州・沖縄ブロック 佐賀大会】

12月11・12日（木・金）13時～
ホテルグランデはぐくれ
大会テーマ「わたしと家族が元気になる」
基調講演…やきつべの径 夏莉 郁子氏

令和7年度賛助会員の皆様

〈団体会員〉（敬称略・順不同）

・こころのこころクリニック
・医療法人 陽山会 丸野クリニック
・医療法人 要会 かなめクリニック
・おか医院
・医療法人 みらい 筑紫野病院
・医療法人 同仁会 乙金病院
・医療法人 社団桜珠会 可也病院
・医療法人 成康会 堤小倉病院
・寿防災工業㈱

・（一社）福岡県障がい者スポーツ協会

・株式会社 ちくしの郷・匠

・福岡県精神保健福祉協会
・医療法人 社団松和会 門司松ヶ枝病院 家族会「みのり会」

・社会福祉法人 福岡あけぼの会 サンサンはかた

・社会福祉法人 桜園

・一般社団法人 ちはや A C T

・医療法人 緑心会 福岡保養院

・一般社団法人 Q I A C T

・鳥手そうめん販売㈱

・社会福祉法人 ほつと福祉会

・油山病院 家族会 あけぼの会

〈個人会員〉（敬称略・順不同）

・石木 猛
・白石 雄二
・津村 美沙
・戸田 俊彦
・阿部 利民
・徳久 照道
・大平 実男
・松本 國寛
・渡辺 美穂
・富田 義之
・舟越 洋
・浦塚 真理
・木原 聡
・坂栗 一
・福岡 恭一
・今村 清隆
・齊藤 浩司
・川本 光
・佐伯 茂子
・大樹 孝行

・本田 俊慧
・鈴木 久子
・犬川 裕二
・立山 義光
・森川 利博
・中里 真一
・馬場 由紀子
・菅野 康子
・下川 展弘
・後藤 英一郎
・小野 雄史
・永末 雄大
・平山 重信
・野澤 雄一
・辻口 由紀子
・山口 雄一
・竹原 享
・隅谷 和生
・一ノ瀬 孝行

・伊原 忠加
・廣津 輝代
・國房 稔男
・金子 義郎
・山本 由美
・内原 守美
・石田 健治
・永末 雄大
・下川 展弘
・樋口 靖子
・古屋 岳貴
・乙村 未貴
・井原 純治
・井上 恭子
・平川 敏裕
・六反 裕司
・重富 久美
・牧原 マリコ

みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。
（令和7年9月22日）



【編集】公益社団法人 福岡県精神保健福祉会連合会 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 6F

【発行】QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0068 福岡市東区社領1丁目12番4号

【年会費】3,000円（購読料含む）定価100円



本研修会では家族、支援者、学生と様々な立場の方にご参加いただき、グループワークでは参加者はそれぞれの経験や課題を共有しながら話し合うことができました。

講演の中で「**家族は家族である前に自らの人生の主人公**」と言われた言葉が印象に残りました。自分を気にかけ、大切にされると、その優しさを周り（当事者）に返したくなる。「優しさのバトンが繋がる。」素敵な言葉！、バトン途切れず繋がっていけば、今より安心して暮らせる世の中になるのかなと思いました。

精神障害がある人の支援における大切な視点

- ・味方としての支持
- ・共感と同感
- ・尊厳と信頼



8月21日（木）事業所委員会主催の研修会を開催しました。講師に日本福祉大学の青木先生を迎え「支援者の基本の「き」精神障害がある人への支援のあり方」をテーマに講演いただきました。

家族支援は本人支援

福岡県との要望協議「医療費助成制度の拡充を」



9月2日福岡県との要望協議を行いました。要望項目は、①医療費助成の拡充（当面2級まで、精神科入院医療も助成を、精神科通院の自己負担分の無料化、生活実態調査の実施など）、②障害者手帳の格差是正、交通運賃割引、③アウトリーチなど地域生活支援の拡充、④家族と家族会への支援、⑤雇用促進と「雇用率代行ビジネス」問題、⑥小中学生むけのメンタルヘルスパンプ作成と全員配布を、⑦精神医療の改善（特例の廃止、身体拘束問題など）、⑧障害年金他11項目です。

医療費助成を2級まで拡大することは、「厳しい財政状況で困難。重度障害者医療費助成は国で実施を要望中」、「精神科通院自己負担は1級のみ月500円を県が助成している」などを回答しました。

福精連からは、「身体・知的は半数近くが助成を受けており、精神1級は手帳所持者の5%に過ぎず95%の人は助成を受けられていないのは問題」、「県の調査でも働ける人は10%台で、



また、「24時間のアウトリーチ体制構築は人的予算上から難しい」。福祉への株式会社などの営利主義参入と質低下、利用者職員へのしわ寄せは、「指導をしっかりと行う」。雇用率売買ビジネス業者の参入は「労働局と連携し指導、支援を行っている」。利用者の意思に関係なくA型からB型への安易な移行について、「利用者の不利益にならないよう指導している」などを回答。「基幹相談支援センターは県内36、拠点整備は56市町村で設置した」、「『にも包括』の協議への参加を地域の家族会に呼びかけていく」とのことでした。

精神医療の改善では、「身体拘束の件数は県議会に諮り公表の予定」とのことでした。身体拘束の件数などについて後日、資料提供がありました。

福精連理事 白石 雄二

事業所の代表者会議

8月21日（金）午前、当会所属の事業所の代表者が集まりました。各事業所の運営状況や特色、工賃体系、食事提供などのサービス内容について情報共有を行いました。

B型事業所の労働時間規制や地域間格差、グループホームの運営問題、食事提供体制加算の条件など事業所が抱える課題に対し、それぞれの事業所の仕方を発表、活発な意見交換が行われました。参加者は少人数だったものの、議論は絶えず、時間が足りないほどでした。

今回、事業所会議は初の試みでしたが、事業所間のネットワーク強化と情報共有の重要性を確認できました。次回開催時には、多くの事業所の参加をお待ちしています。



【虐待防止&身体拘束適正化研修会】

令和7年度の虐待防止研修会が7月4日にオンラインで開催され30事業所・家族115名が参加しました。講師には福岡県社会福祉士会の安田征司氏が務めてくださいました。安田氏の講義の後、グループワークを通じて虐待の類型や背景、予防策について議論しました。

研修の中で、参加者は虐待防止と権利擁護に関する意識を高め、日々の支援を振り返ることが求められました。

また、事業所管理者は風通しの良い組織づくりを心がける事、支援員は利用者との信頼関係構築のために定期的な個別面談を実施し、利用者の意思決定支援を重視した支援を行うこと、職員のストレスチェックを定期的に行い、利用者の障害特性や病状への理解を深めることが重要とされました。他にも、人員不足解消のための対策を話し合うなど活発な意見交換をし、学びを深めることができました。

みんなねつと京都大会

精神保健福祉の未来を描く

「家族ほごりまご」と支援を目指して

9月5・6（日）みんなねつと京都大会へ参加しました。台風15号の影響の中、日本全国から約700名以上の方々が参加されていました。

先ずリレートークの中で印象深かったのは、60年前の家族会創設（京都府に第一号）について。京都府連の方が話されました。当時は精神科入院費5割負担。高額な医療費を払えず一家心中や田畑を売るなど大変な時代、精神病院といても、医療とはかけ離れた、理不尽な扱いをされる場所だったこと。隠す家族が多い中、同じように悩んでいる家族を探し歩き、家族会を立ち上げられた苦悩や歴史を語られました。



その後少しずつ家族会ができ、全国組織（現在の、みんなねつと）が結成され、共に（京都、みんなねつと）60周年を迎えたとのこと。

京都市長自らお祝いの言葉を述べられ、「今後の京都市としてケアの課題や、誰もが幸せを感じ、互いに繋がり、支えあってウェルビーイングなまちの実現に向け取り組む事」など、想いや考えを語られました。

話を聞きながら、2019年に観た映画「夜明け前」（呉秀三と無名の精神障害者の100年）が思い出されました。

主催者挨拶のあと、



第1分科会では、「親亡き後をみすえた家族まるごと支援」と題して議論が行われました。佛教大学の塩満教授は、日本の法制度は精神障がい者のケアを家族に依存させており、

家族に過度な負担をかけている現状に触れ、諸外国の支援体制と比較し、改善が必要であると指摘しました。福祉サービス事業所の高橋氏は、両親が急死した通所者さんの支援例を紹介し、親の準備の重要性と支援者の存在と居場所が単身生活を可能にすることを強調。

兄弟の立場の赤岩氏は、「親亡き後」の課題を、兄弟の法的義務について説明し、生活援助義務は強制ではなく、自分の生活を成り立たせた上で、できる範囲で支援することを強調されました。

大分県社会福祉事業団の後藤氏は、「大分モデル」を紹介し、障害の有無にかかわらず心豊かに暮らせる県づくり条例が施行されたこと。親亡き後問題に特化したプロジェクトや相談室の設立について説明されました。

まだまだ考え行うことなど、宿題が多くありそうですが、初めて全国大会に参加できたことに感謝です。

福精連理事 森川 久美子

また、精神障がい者支援のあり方について、医療依存からの脱却、家族会は大規模化せず、小規模なつながりを大切に、地域で共に活動できる支援者の必要性。家族との適切な距離を保つことの重要性。日常生活で「ありがとう」と「ごめんね」の言葉を大切にする事的重要性を再認識しました。